

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2026年3月12日(木)

NO. 1662号

本号3頁

## 反戦叫ぶ 国会前8000人 平和憲法守る緊急アクション

「憲法改悪反対の意思を示したい」「平和憲法を持つ国としてイラン攻撃非難を」一。市民団体「WE WANT OUR FUTURE」と憲法9条を壊すな！実行委員会は10日夜、国会正門前で、平和憲法を守るための緊急アクションを行いました。冷え込むなか8000人が参加し、ドラムのリズムに合わせて「高市（早苗）首相は憲法守れ」とコール。学者、アーティストらがスピーチしました。

参加者は色や形がさまざまなペンライト、「今はまだギリ平和だから反戦を叫ぶよ」という光るボードを掲げてアピール。SNSで行動を知った若い人や初めて声を上げる人たちが集まり、国会周辺は熱気に包まれました。

9条壊すな！実行委の高田健さんは「イラン・中東、ウクライナ、ガザに思いを寄せ、高市首相が戦争に加担することのないようにさせよう」と訴えました。

X（旧ツイッター）を見て初めて参加した栃木県那須塩原市の会社員（45）は「改憲反対の意思を表明したくて来ました。憲法は戦争放棄のよりどころです。私たちの誇りとして守りたい」と話しました。

緑に光るペンライトを持って参加した埼玉県川口市の学生（23）は「米・イスラエルを擁護したり憲法9条を変えると言ったり、高市さんは暴走していると感じます。オタクのアカウントでも政治の発言が当たり前になるよう発信したい」と語りました。

日本共産党の小池晃書記局長、吉良よし子、山添拓両参院議員が参加しました。



## イスラエルとアメリカがイランに対して攻撃 一いかなる理由であれ先制攻撃は「国連憲章および国際法に違反する明白な無法行為」一

米国とイスラエルは2月28日、首都テヘランなどを空爆し、最高指導者ハメネイ師をはじめ国防相や革命防衛隊総司令官など政権・軍の指導者を殺害しました。トランプ大統領やネタニヤフ首相は、主権国家の指導者の殺害という暴挙を誇る異常な姿勢を示しました。いかなる理由であれ先制攻撃は「国連憲章および国際法に違反する明白な無法行為」であり、断じて容認できません。

イラン当局の発表では、イラン全土の160以上の都市に2000回以上の爆撃が行われ、病院や学校、住宅など民間施設にも被害が及び、少なくとも1300人が死亡。さらにイスラエルのレバノン侵攻では2000人以上が死亡しています。

米軍は4日、スリランカ沖のインド洋でイランのフリゲート艦を潜水艦からの魚雷攻撃で撃沈。戦火をインド洋の公海上にまで拡大しました。イランの攻撃によるイスラエル国内の死者は11人。米軍基地などがある湾岸諸国への攻撃では9人が死亡。米兵6人の死亡も確認されています。

イランのペゼシュキアン大統領は7日、被害を受けた近隣諸国に対し「謝罪」を表明。イランへの攻撃がその国から行われない限り、近隣諸国への攻撃を停止すると発表しました。

トランプ氏は5日、イランの「無条件降伏」を求めるとSNSで発表。自分が容認できる政権が成立すれば「イランを再び偉大な国にする」と表明。攻撃の目的を明確にできないまま、干渉的な大言壮語を繰り返しています。トランプ氏の発言には、イランで1953年に米中央情報局（CIA）が関与したクーデターが発生し、その後の親米独裁のパレービ体制の下で秘密警察による国民弾圧が続いたことを想起させるとの批判が出ています。

イランは最高指導者にハメネイ師の二男・モジタバ師を選出した。トランプ氏は「受け入れられない」と明言しました。

## ホルムズ海峡の封鎖は、我が国の存立危機事態に該当するか

ホルムズ海峡の封鎖が存立危機事態に該当するかどうかについて、木原稔官房長官は3日、前日の現状で該当するとは判断していないとした発言を封印し、明確な回答を避けました。

重要なことは状況を悪化させないこと。高市首相は今月、訪米してトランプ大統領との会談に臨むが、大国の無法な軍事行動を制止せず、この上、おもねるような姿勢を取ってはなりません。支持率低下が報じられ始めた高市首相が、トランプ氏の前で、どのような発言・行動をとるか、注視しなければなりません。

## 高市首相が石川県知事選の敗北にブチ切れ！

### NHK 調査でも内閣支持率が下落…

とうとう高市首相の人氣に陰りが見えてきたようだ、日刊ゲンダイが報じています。

NHKが6日から3日間、実施した世論調査によると、内閣支持率は2月調査から6ポイント下落し59%でした。一方、不支持率は6ポイント上昇、26%。支持しない理由のトップは、なんと「人柄が信頼できないから」。共同通信の調査でも支持率は先月比3.2ポイント減の64.1%。高市人氣にブレーキがかかった格好です。

人氣急落を象徴したのが、8日に投開票された石川県知事選です。自民と日本維新の会推薦だった現職・馳浩知事が落選。当選した山野之義前金沢市長との保守分裂だったとはいえ、現職の敗北は異例です。しかも、選挙期間中に“大人氣”の高市本人が応援に駆けつけたにもかかわらず、です。

県知事選の結果に高市首相は大慌て。西日本新聞電子版(10日付)によると〈9日午前、敗戦の報告を受けた首相は血相を変えて怒りをぶちまけた〉というから穏やかじゃありません。知事選で現職総理が特定候補の応援に入るのは極めてまれですが、(それでも石川入りした背景には、今後の地方選に備えて「高市人氣」を強固にする思惑があった)と言いますが、狙い通りにいかず、人氣にミソがついたからブチ切れてしまったようです。

### まさかの敗戦、支持率下落……化けの皮がはがれ始めた可能性が高い。

突然、衆院を解散したために来年度予算案の審議入りが遅れたのに、高市自民は国会審議の短縮を画策し、有無を言わず年度内成立を強行しようとしています。加えて、庶民感覚からズレたカタログギフト配布問題では「昭和の中小企業のオヤジ、社長みたいところが、まだ私にはあるのでしょうか」などと、素直に謝罪せず、中小企業のオヤジをバカにした言い訳を展開したことも影響したようです。

この先、高市首相はさらなる人氣低下を免れそうにありません。危惧されているのは、19日のトランプ米大統領との会談です。イランに先制攻撃を仕掛けた当事国のトップと、どんな様子で話すのか。初会談時のようにトランプ氏の隣で満面の笑みでびよんびよん跳びはねようものなら、国民は失望しかねません。また、予算案が衆院を通過したら、以後、主戦場は参院に移ります。衆院では、選挙で大敗した中道改革連合の議員の追及が迫力不足でしたが、参院では強い立憲民主党議員が残っています。旧統一教会や政治とカネの問題で攻められれば、総理はキレてしまうかもしれなません。態度によっては、国民の批判を招く展開もあるようです。

## 各地のとくくみ

### 神奈川 イラン攻撃今すぐやめよ 米軍厚木基地に中止求める 神奈川平和団体

アメリカとイスラエルによるイラン先制攻撃をめぐり、神奈川県内の平和団体が9日、米海軍厚木基地(綾瀬、大和両市)を訪れ、同基地司令官、在日米軍司令官に宛てて、攻撃の即時中止を申し入れました。申し入れたのは、県と大和、綾瀬両市の平和委員会、安保廃棄神奈川県統一促進会議です。

平和委員会の要請書は、▽日本がこの戦争にまきこまれかねない自衛隊の派遣を要請しない▽厚木基地を訓練の拠点として使用しない▽住民の命と安全を脅かす厚木基地は速やかに日本に返還する一ことも要請。国連憲章違反の先制攻撃を批判し、昨年11月の国連総会で、加盟193カ国の総意で採択された五輪開幕7日前からパラリンピック閉幕7日後までの休戦を求める「五輪休戦決議」も無視してはならないと指摘しています。

日本共産党の上田博之綾瀬市議、高久良美大和市議も参加しました。

## **神奈川** 横須賀米艦 イラン撃つな 基地前で市民抗議

米国・イスラエルによるイランへの先制攻撃で神奈川県横須賀市の米海軍横須賀基地を母港とするイージス艦2隻が長距離巡航ミサイル・トマホークを発射してイラン攻撃を行っていることに對し8日、市民らが同基地前で抗議のスタンディングを行いました。「非核市民宣言運動・ヨコスカ」の呼びかけで集まった約60人が、基地に向かって「攻撃は即時中止」「NO WAR」の横断幕、プラスターなどを掲げました。

参加者一同は在日米海軍司令官宛てに、横須賀を母港とする艦船のイランへのトマホーク先制攻撃に抗議し部隊の撤収を求める申し入れ書を提出しました。

文書は、▽日本の基地を中東攻撃の拠点として使用することは日米安保条約第6条に違反▽米軍は在日米軍基地からの直接出撃の際に必要な事前協議を無視一していると指摘。「安保条約すら踏みにじる軍事行動を許容することは横須賀が出撃拠点となることを市民が受け入れ続け、私たち自身が加害者になることを意味することになる。私たち市民はそれを容認できない」としています。

## **熊本** 長射程ミサイル配備強行に、健軍駐屯地前で市民抗議

防衛省は9日未明、熊本市の陸上自衛隊健軍駐屯地に、憲法違反の敵基地攻撃能力を持つ長射程ミサイルを搬入し、事実上の配備を強行しました。住民の激しい抗議の中、約1000キロの射程を持つ「12式地对艦誘導弾能力向上型（地発型）」が運び込まれました。同ミサイルの配備は全国で初めてです。

発射装置や射撃統制装置を積んだ車両は、7日に陸自富士駐屯地（静岡県）を出発し北九州市・新門司港などを經由。夜陰に紛れるように駐屯地の東側敷地に入りました。防衛省は、今後の本格配備に向け引き続き関連装備品搬入などの準備を強行する構えです。

駐屯地正門前には配備に反対する市民約150人が集まり、配備撤回と住民説明会の開催を求めました。

「ストップ！長射程ミサイル・県民の会」の山下雅彦会長（東海大学名誉教授）は、熊本県知事や熊本市長も「事前の連絡は無く報道で知った」と表明しているとし、「防衛省は何の予告も無く不意打ちで暴挙に出た」と厳しく批判。全国各地で大軍拡に苦しむ市民らの連帯にふれて憲法9条を守り広げる取り組みを呼びかけ、「配備されたからといって『分かりました』では済まない。これからもたたかい続けよう」と訴えました。

**ご参加ください!!**

# 2026年春の憲法講座 — 憲法の危機、守り生かす大運動ではなかせう! —

●講座・講演 **渡辺 治** 一橋大学名誉教授  
「高市内閣の改憲・軍拡策動の狙い。どう立ち向かうか」

日時 2026年3月22日(日) 午前12時30分~14時10分 (会場) 全労連会館2階ホール

■ 資料代 1,000円・学生 500円 (当日会場いただけます) (12時開場) 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 TEL:03-5642-5410  
■ YouTube で同時配信します。右上のQRコードからご視聴ください。 (1階) 中央階・2階階 会場/本誌から徒歩8分  
■ 視聴される方は参加費 1000円を郵便振替 00160-8-66110 憲法会議に振り込んでください。 (地下階) 東口メトロ丸の内線 会場/本誌から徒歩7分  
■ 事前お申し込みをお願いします。mail@kenpoukaigi.gr.jp

■ 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議) tel.03-3261-9007 fax.03-3261-5453

■ 神奈川憲法会議・埼玉憲法会議  
千葉県憲法会議・東京憲法会議